

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2002-505774(P2002-505774A)

【公表日】平成14年2月19日(2002.2.19)

【出願番号】特願平11-501507

【国際特許分類第7版】

G 0 6 K 7/12

G 0 2 B 5/18

G 0 3 H 1/18

G 0 6 K 19/06

【F I】

G 0 6 K 7/12 B

G 0 2 B 5/18

G 0 3 H 1/18

G 0 6 K 19/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17 年 4 月 7 日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成 11 年 特許願 第 501507 号

2. 補正をする者

名称 オーファウデー キネグラム
(氏名) アクチエンゲゼルシャフト

3. 代理人 電話 03 (5368) 5741, Fax 03 (5368) 5743

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿二丁目5番16号
霞ビル 5 階

氏名 (7529) 弁理士 加 藤 卓



4. 補正により増加する請求項の数 0

5. 補正対象書類名

「明細書」

6. 補正対象項目名

「請求の範囲」

7. 補正の内容

別紙の通り



(別紙)

1) 光学的な回折効果を持つ微視的に細かいレリーフ構造、平坦なミラー面あるいは吸収または散乱構造を有し、該構造の光学的な効果が構造(19)上の反射層(21)によって定まり、かつ該構造がプラスチックからなる積層物(20)に埋め込まれている構造の面成分からなるN個の視認可能なパターンと、前記N個のパターンとは独立していて、異なる部分構造の複数の面部分(14; 15; 16; 17; 18)に細分された少なくとも一つの面要素(11)とを有する面パターンであって、

前記面部分(14; 15; 16; 18)のそれぞれに部分構造が設けられており、該部分構造が、微視的に細かい回折構造であるか、あるいは吸収または散乱特性を有する構造を有しているか、あるいは平坦なミラーであり、部分構造が回折構造として構成される場合には、互いに格子パラメータが異なる面パターンにおいて、

前記面要素(11)は、0.4mmより小さな寸法の周期的に配置された面部分(14; 15; 16; 17; 18)に細分されていて、それによりN個のパターンとは独立した面要素(11)の面部分(14; 15; 16; 17; 18)の構成が肉眼では認識できないようになり、

前記回折構造として構成された部分構造のそれぞれの空間周波数 f_B が、光を回折する前記レリーフ構造の空間周波数 f_R に対して、mm当り20から100ラインの空間周波数間隔 $\pm \Delta f$ を有することを特徴とする面パターン。

2) 前記各面要素 (1 1) は、ピクセル (1 7) あるいは帯 (1 4 ; 1 5 ; 1 6 ; 1 8) 状に面部分 (1 4 ; 1 5 ; 1 6 ; 1 7 ; 1 8) に細分されており、その部分構造 (a、b、c、.....) の配置が周期的になっていることを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の面パターン。

3) 部分構造 (a、b、c、.....) の空間周波数 f_B が変調され、所定の帯域幅において連続的にあるいは段階的に変化されることを特徴とする請求の範囲第 1 項または第 2 項に記載の面パターン。

4) 面要素 (1 1) の面部分 (1 4 ; 1 5 ; 1 6 ; 1 7 ; 1 8) の微視的に細かい回折構造が、少なくとも 1 つの空間周波数 f_B を有し、N 個のパターンの光学的な回折効果を有する微視的に細かいレリーフ構造が、空間周波数 f_R を有し、空間周波数 f_B のどの整数倍も、空間周波数 f_R の一つの整数倍でないことを特徴とする請求の範囲第 1 項から第 3 項のいずれか 1 項に記載の面パターン。

5) ホイルの材料の屈折率の局所的な変化により形成される光学的な回折効果を有する微視的に細かい構造 (3 0') を備えたホイルに記録の体積ホログラム (3 0) の形をした N 個の視認可能なパターンと、前記 N 個のパターンとは独立した少なくとも一つの面要素 (1 1) とを有する面パターンであって、

少なくとも 1 つの空間周波数 f_B を有する面要素 (1 1) の微細な構造 (3 0') が、空間周波数 f_B の回折角度の範囲 (2 7) に N 個のパターンとは別の回折パターンを発生させ

るように、配置されている面パターンにおいて、

前記N個の視認可能なパターンの微細な構造が、空間周波数 f_B とは、mm当り20から100ラインの空間周波数間隔 $\pm \Delta f$ だけ異なる空間周波数 f_R を有し、

面要素 (11) の微細な構造 (30') が、少なくとも2つの異なる方位角の値 ϕ_1 、 ϕ_2 を有することを特徴とする面パターン。

6) 面要素 (11) の構造 (30') の空間周波数 f_B のどの整数倍も、N個の視認可能なパターンの空間周波数 f_R の一つの整数倍ではないことを特徴とする請求の範囲第5項に記載の面パターン。

7) 面要素 (11) が情報要素であり、面要素 (11) の各部分構造により4つの状態が決定され、面要素 (11) により光学的に機器により読み取り可能なコードが形成されることを特徴とする請求の範囲第1項から第6項のいずれか1項に記載の面パターン。

8) N個のパターン内で複数の面要素 (11) が群を形成することを特徴とする請求の範囲第7項に記載の面パターン。

9) 各面要素 (11) が同じ大きさであり、帯状に線形な面集合 (12) として配置されることを特徴とする請求の範囲第7項に記載の面パターン。

10) 前記面集合 (12) において、面要素 (11) は、部分構造 {a、b}、{c、d}、{a、e}、あるいは {c、e} の対からなっていることを特徴とする請求項第9項に記載の面パターン。

1 1) N個の視認可能なパターン内で面要素(1 1)が、
矩形状の面集合(1 3)を形成することを特徴とする請求の
範囲第7項に記載の面パターン。

1 2) 面部分(1 4 ; 1 5 ; 1 6 ; 1 7 ; 1 8)の少なく
とも1つが、英数字記号からなる1つの部分構造の文字像(3
6)と、他の部分構造の背景を有することを特徴とする請求
の範囲第1項から第1 1項のいずれか1項に記載の面パター
ン。

1 3) N個のパターンの少なくとも1つのパターンの少な
くとも1つのグラフィック要素(3 1 ; 3 2)が面要素(1
1)に渡って延びており、面要素をサブ要素(3 3 ; 3 4)
に細分することを特徴とする請求の範囲第1項から第1 2項
のいずれか1項に記載の面パターン。

1 4) 請求の範囲第1項から第1 3項のいずれか1項に記
載の面パターンを、書類(2)のセキュリティ要素として使
用し、かつ読み取り装置で書類(2)を識別するために使用
することを特徴とする面パターン。